

原油価格の急落による事業環境悪化を踏まえた緊急要望

エネルギー資源が乏しい我が国において、自主開発原油・天然ガスの確保は我が国エネルギー安全保障確保の要諦であり、自主開発目標の達成に向けて業界挙げて努力しているところにある。

しかしながら、新型コロナウイルスの大流行によるグローバルな経済活動低下に伴うエネルギー需要の大幅な減退に加え、OPEC+の協調減産合意破棄などによる大幅な供給超過の状態によって、油価、ガス価は歴史的な低水準で推移している。

このような状況が今後継続すれば、当業界各社においては、急激な収入減少や借入返済等が相まって、極めて厳しい経営を余儀なくされ、その結果、新規権益取得ができないのみならず、これまで各社が取得し、開発、操業している重要な上流権益の維持すら困難になることが懸念される。

については、当業界において早急に取りまとめた以下の制度見直し及び既存制度の機動的、弾力的な運用等、格別のご支援をお願いしたい。なお、これら要望は現時点で優先度が高いものであり、当連盟において引き続き検討中であることを申し添える。

記

1. JOGMEC 出資について

- (1) 国内外の新規探鉱や新規権益取得にあたり、JOGMEC の高率出資（75%、可能であればそれ以上）を適用すること。
- (2) 既存開発、生産案件に関し、JOGMEC の新規、追加出資を機動的、弾力的に行うこと。
- (3) 事業運転資金も出資対象となるよう、出資対象となる経費の範囲を拡大すること。

2. JOGMEC 債務保証について

- (1) プロジェクト継続のために借入（用途を限定しない）やりファイナンスが必要となった場合に、JOGMEC による追加的な債務保証を可能とすること。
- (2) 既存案件において保証履行が必要となる場合や、新規案件における保証採択（前項を含む）に円滑に対応できるよう、債務保証基金を積み増すこと。

3. JBIC 協調融資について

既存プロジェクトの破綻や撤退を免れるため、一定の場合に、JBIC 協調融資条件を柔軟に取り扱うこと。

以上